

競技会の参加にあたって

1 競技者登録について

Web - SWMSYSで事前に登録の上、(公財)日本水泳連盟の競技者登録・団体登録を行う。

2 申込方法について

- (1) 各競技会の要項を確認の上、「申込方法」の各項目に従って申し込むこと。
- (2) 各競技会についての問い合わせは、各要項にある「問合せ先」に連絡すること。
- (3) 競技委員会が主管する競技会の申込方法について
(公財)東京都水泳協会競技委員会が主管する競技会のうち、東京都春季・東京都秋季・東京都新春・東京都選手権・東京都冬季の各大会は、以下の方法で申し込む。

登録団体は、(公財)日本水泳連盟のインターネット競技者登録システムWeb - SWMSYSにてエントリーを行う。校種別を判別するための中学校の「中」や、高等学校の「高」「高校」などを団体略称に入力する。

Web - SWMSYSで、「競技会申し込み(エントリーTIME)データ一覧表」を印刷し、内容を確認する。

クラスの入力欄は、特別な指定がない限り入力しない。

リレー種目は参加区分を選択する。(個人種目とリレー種目で区分が違う場合がある)また、リレー種目で同一種目に複数エントリーする場合は、チーム名にA、B、Cの区別を入力する。

リレー種目に申し込む場合は、Web - SWMSYSで「競技会申し込み(リレー)データ一覧表」も印刷し、内容を確認する。

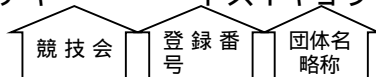
協力競技役員およびその他の必須入力が必要な場合は、集計画面にて必要事項を入力する。

Web - SWMSYSで、「競技会申込明細表」を印刷後に、必ず捺印する。

(公財)東京都水泳協会発行の領収証が必要な場合は、「競技会申込明細表」の余白に、正確な宛名、領収証が必要な金額、ただし書きの必要事項を明記すること。受け取りは競技会当日のみとする。申込金を次の口座に振り込み、その「振込受領票のコピー」、「競技会申込明細表」、「競技会申し込み(エントリーTIME)データ一覧表」、「競技会申し込み(リレー)データ一覧表」を、各競技会要項指定の期日までに届くよう郵送する。

- 【注】 振り込みの際の依頼人名は、代表者の個人名ではなく
「大会略号(カナ2文字)」+「団体登録番号5桁」+「登録団体名(略名)」とする。

例 (依頼人名) アキ トスイキョウ * 代表者の個人名では振り込まない



- 【注】 振込手数料は、登録団体で負担すること。
【注】 申し込みの不備があった場合、当協会からの問い合わせに回答がない場合、また、問い合わせ先が不明・不在等の場合は、参加できないこともあるので、十分注意すること。
【注】 重量に十分注意すること。切手不足は原則受け取らない。
【注】 振込期日および郵送期日を厳守すること。

振込先

みずほ銀行 新宿支店
普通預金口座：2228914
名義人：公益財団法人東京都水泳協会 競技委員会

郵送先

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-3-18 広尾オフィスビル8階
(公財)東京都水泳協会 (競技会名を記載)係
TEL 03-5422-6147 FAX 03-5422-6241

(4) その他

申し込み内容の確認は、(公財)東京都水泳協会のホームページ(<http://www.tokyo-swim.org>)で確認することができる。

訂正がある場合は、各競技会要項で定める期日までに、(公財)東京都水泳協会にFAX(03-5422-6241)で連絡すること。期限を過ぎた後の訂正はできないので、申し込み責任者は十分注意すること。

また、申し込み状況公開後は、参加人数の多い種目から少ない種目への変更は認めない。

3 追加要項の公表

追加要項を、(公財)東京都水泳協会ホームページ(<http://www.tokyo-swim.org>)に掲載するので、確認すること。

4 競技委員会が主催する競技会の入場方法(東京辰巳国際水泳場)

(1) 入場順序

参加選手数の多い順とし、各団体代表者1名。追加要項に入場順位を公表するので確認すること。また大会当日も入場順序を掲示する。2日以上前の競技会の2日目以降も、1日目と同じ入場順序とする。

以外の監督、顧問、コーチ、マネージャーなど。

出場選手

保護者など

(2) 入場前の待機方法

前述の順序による入場までの間、上記 ~ はそれぞれ以下のように待機すること。

ア 上記の ・ は、2階チケットブース前の鉄扉周辺に待機する。

イ 出場選手は、会場への到着順に、上記 の待機場所の後方に、セーフティーコーンで仕切られた区画内に、スロープへ向かって整列して待機する。列がスロープ終端へ達した場合は、駐車場の反対側(階段ではなくスロープ側)に折り返し、レストラン前からは、水泳場の壁面沿いに、公道から駐車場入口の方向へ整列する。列の中に先着した同チームの選手がいても、到着順に列の最後尾について整列すること。割り込みは厳禁とする。

ウ 保護者などは、2階チケットロビー前の鉄扉に向かって左側に待機すること。

上記 ~ の入場が終わるまで、2階チケットブース前の鉄扉周辺は、 による入場者が待機場所へ入る場合を除いて通行禁止とする。選手・保護者などは、この通行禁止場所を経由せず、地上からそれぞれの列の最後尾へ向かうこと。

(3) 選手がウォーミングアップに行きやすくするため、また観覧席通路の混乱を防ぐため、入場の流れが落ち着くまでは、選手・保護者などの関係者の入場方法は追加要項による。

5 競技会当日の注意事項

(1) 選手票・付添票が必要な競技会では、事前に所属・氏名を明記し(鉛筆不可)、入口でチェックを受けること。

(2) 会場内の場所取り可能な場所について、あるいは、室内履き等の使用の可否については、各競技会の追加要項で確認すること。

(3) 水着・衣類・タオル・スイミングキャップ・バッグなどについては、(公財)日本水泳連盟【大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください】を確認し競技会に参加すること。

(4) 棄権については、追加要項に掲載される「棄権票」に記入の上、指定の場所に提出すること。なお、決勝を棄権する場合は、すみやかに指定の場所に連絡すること。

(5) リレーオーダーについては、追加要項に掲載される「リレーオーダー用紙」に個人番号を記入の上、締め切り時刻までに指定の場所に提出すること。

(6) 招集所には私物を放置できない。招集所に持ち込む荷物はアリーナ内(各レーン)まで持ち込めるものに限る、最小限にとどめること。

(7) 抗議について

競技開始前に判明した事項については、出発合図の前に、文書で審判長に提出しなければならない。違反の内容について、審判長の説明によっても疑義が解消しない場合、チームの監督または代表は、その事柄発生後30分以内に抗議内容を文書にして提出しなければならない。

(8) 会場内では、「使用上の注意」を守り、常識・マナーをもって行動すること。

(「東京辰巳国際水泳場使用上の注意」を参照のこと)

(9) 観覧席の使用について

館内が混み合っている場合、選手の保護者等の観覧席は、各団体のコーチ等と相談して使用すること。各団体は、選手が席を使用していない場合、保護者等と連携を図り、当該選手の保護者に席を譲るなど配慮をし、必ず団体内で解決を図ること。

(10) 会場付近での路上駐車、および迎車による長時間の停車は禁止する。

(11) 忘れ物は、競技会終了後に確認してから処分する。

6 会場での撮影について

(1) 撮影の許可制について

会場での撮影は許可制とし、カメラ・ビデオ・タブレットなどの撮影機器のほか、どのような媒体での撮影にも、必ず主管団体の発行する撮影許可証が必要である。無許可での撮影、または疑わしき撮影と判断した場合は、フィルム・ビデオテープ・記憶媒体の提示を求め、状況によっては没収し、また身柄を当局に引き渡すことがある。

(2) 撮影許可証の申請方法について

撮影を希望する方は、事前に申請書(コピー可)に必要事項を記入の上、参加団体の承認印を押してもらい、手数料100円を添えて申し込むこと。なお、申請書は追加要項にも掲載する。

(3) 撮影許可証の携帯方法について

葉書縦サイズの許可証を入れるホルダーを用意し、必ず首から下げて携帯すること。ホルダーは当日100円にて販売し、次回以降の競技会でも使用できる。撮影許可証の返却はいらない。

《撮影許可証申請書》

許可証番号	
開催日	月 日()~ 月 日()
競技会名	
団体名	代表印
撮影対象選手氏名	
撮影者氏名	
撮影者連絡先	

個人情報の取り扱いについて

競技者登録、ならびに競技会への参加申し込みの際に得られた個人情報は、(公財)日本水泳連盟「個人情報保護についての方針」に従って取り扱う。また、競技会への参加を申し込んだ場合は、氏名・性別・学年・年齢・年齢区分・所属団体名・競技結果などの情報が、当該競技会のプログラム・速報・HP上に公開されることに同意したものと取り扱う。